



創立35周年記念式典挨拶

記念式典委員長 府川 清

皆様こんにちは、千歳川の岸辺で寒かった冬にじつと耐えていた若葉も緑に変わり、初夏の訪れか早くも野山は青葉、若葉になってまいりました。本日は、湯河原ロータリークラブ創立35周年記念式典に当たり、国際ロータリー第2780地区、河本ガバナーをはじめ、ご来賓の皆様には大変お忙しい中、ご臨席を賜りまして有り難うございます。

さて、私達湯河原クラブはご承知のように、昭和37年4月20日小田原ロータリークラブをスポンサークラブとして、24名のチャーターメンバーによって創立されました。

本日の35周年記念式典に、その時のチャーターメンバー初代会長の天野弘之会員、幹事だった加藤福松会員、吉光闕爾会員、八亀昌美会員が、今日も元気に参加し、喜んで皆様をお迎えしています。

私達クラブもお蔭様で、今日まで出席率100%を目標に、先ず、クラブの行事は、会員の出席から始まるとの伝統を守り、健康に留意し、背伸びせず、あせらず、たゆまず、例会を楽しみ乍らの出席を心掛けてまいりました。

又、記念事業として地球温暖化に対する環境整備運動ともなる、植樹作業をしてきました。

創立10周年のときに、大観山ツバキラインの見晴らしのよい高台に、山もみじを植樹し、毎年下草刈り作業を続けているので、今では大きく育ち、秋には見事に赤く紅葉した、すばらしい山の景色に変わっています。

15周年には、湯河原小学校に、厳しい冬にもめげず、小さな花を一杯につけて、大きく咲き誇っている、梅の木に、子供たちに夢を願い植樹する。

20周年には、湯河原高校に、ミモザアカシアの植樹をし、25周年には、椿の植樹を続けて、静かな学園の環境整備に協力する。今では枝一杯に花をつけ、小鳥も住みつき勉学のひととき、憩いと、やすらぎの場所ともなっています。

そして湯河原町へは、町をあげての緑化計画事に賛同し、100万円の基金の寄贈をしました。

前回30周年の記念事業は観光湯河原の町として温泉場の歩道の両側に、椿と、山茶花の大きな鉢植えを並べ町に寄贈しました。花が散ると鉢植えに町では小さな電球を連ね夜景のイルミネーションとして散策されるお客様に楽しんでいただくよう工夫を凝らしています。

私達クラブは、これからも尚一層諸先輩の方々が、育て残された、よい伝統を皆んなで大切に守り、次の40周年、50周年をめざし、前進する覚悟であります。

ここに、会員一同に代わりまして、この式典にご参加いただきました、ご臨席の皆様方、ご厚情と、ご友情に対して、重ねて厚く、心よりお礼申し上げます。

最後に皆様方、ご健勝とご多幸を祈念申し上げます。式典委員長の挨拶とさせて戴きます。



会長挨拶

第35代会長 室伏安雄

本日ここに湯河原ロータリークラブ創立35周年記念式典を開催するにあたり、国際ロータリー第2780地区、河本ガバナーを始め先程、ご紹介のご来賓の方々には、公私ともご多忙の中をご臨席賜りまして盛大に開催出来ましたことを、深く感謝し厚くお礼申し上げます。

私達の湯河原ロータリークラブは、小田原ロータリークラブをスポンサークラブとし、宮坂特別代表により、35年前に24名のチャーターメンバーに依って創立されました。

創立前、当クラブの産みの親でもある天野先輩は小田原クラブの会員でしたが、国際ロータリーの会員拡大・増強の大方針の意向に添って、いで湯の町、湯河原にロータリークラブをつくろうと働きかけたのが始まりで、地元で多くの同志と熱意と努力により湯河原ロータリークラブが誕生したと伺いました。

創立にあたり、あか抜けした明朗で和気、あいあいなクラブにしたいとの方針でしたが、この方針と伝統は代々受け継がれ『楽しいクラブ・楽しい例会・楽しく奉仕』をモットーに非常にまとまりのいい、和やかクラブとなっております。

今も4名のチャーターメンバーの方々元気活躍し後輩のご指導をして戴いております。

当クラブでは創立5年・10年・15年・20年・25・30年とそれぞれ節目としての記念事業を、おこなって参りました。

その内の10周年の記念事業だけを申し上げます。この事業は、大観山の椿ライン山頂に、山モミジ4千本を植栽し、その後、夏の炎天下、毎年、会員全員で下草刈りに、奉仕の汗を流した甲斐あって、山モミジもすくすく成長し晩秋には椿ライン箱根越えの人々の目を楽しませ心の安らぎを与えてくれます。お蔭様で昨年5月の地区協議会で、『意義ある業績賞』を戴きました。その感激が今でも私達の脳裏に焼き付いております。

今回は時節柄、式典はなるべく簡素化にとの趣旨のもとに35周年記念事業実行委員会を設置致しまして、実行委員長に小松会員を委任し、構成されました委員会の活躍により、格調高い式典と、記念事業を、みられるに至った事を、会長として心より御礼申し上げたいと思いますので、御参席の皆様方には、今後とも変わらぬ、ご指導、ご支援、ご交誼の程お願いを申し上げまして、ご挨拶といたします。



*天野屋橋からヤマメを見つけ釣竿をだしフライを魚にプレゼント釣れますか？吉光先生、釣に夢中になると、例会に遅れるよ～。



湯河原 R. C 創立35周年記念挨拶

第2780地区 ガバナー 河本親秀

湯河原 R C 創立35周年記念式典おめでとうございます。お招きを頂有難うございます。国際ロータリー第2780地区を代表してお祝申し上げます。

今日は日本晴れで素晴らしく爽やかで湯河原ロータリークラブの創立記念式典を天も祝っているかのようです。当湯河原厚生年金会館は以前から良くおじゃましてきて、この度まいりましたら、すつかりきれいに改装されておりました、素晴らしい会場、そして多くのお客様わざわざお隣の地区、熱海、熱海南、網代多賀 R. C の皆様ようこそいらつしゃいた、感謝申し上げます。

昨年の 7月19日に公式訪問を致しました時には大変お世話になり有難うございました。当時は地区4番目の訪問でしたので、まだ各クラブの様子特徴が、初の方で、しかとは分かりませんでした。湯河原クラブの伝統とお聞きしておりました芸者さんを入れての懇親会は、地区67クラブ中、唯一のユニークな懇親会でした。食事の美味しさも地区一番と言って良いと思います。

創立10周年に城山、山頂に植樹された 4,000本の山紅葉の下草刈と育成を24年間継続されたことで、昨年『意義ある業績賞』を受賞されたこと、又創立以来35年間で100%が18回、99%以上が10回と言う、地区ナンバーワンの出席率、伝統ある業績は大いに誇るべき実績と存じます。これらは地区のチャーターメンバーとでも言うべき天野さんを中心に結束されてきた賜と、心から敬意を表します。この会場に岩崎さんがおられますが、岩崎さんは天野さんより2カ月先輩との事で、いばつておりますが、これには何時迄たつても、天野さんは、残念ながら越えることは出来ません。

本年度、湯河原クラブさんは、若い会員を中心に、デビット・ライト君をホストしていただいて、無事に終了して頂きました。

新世代のためのロータリー会議も立派にやつて頂きましたし、またロータリー財団寄付は209ドル50セントと既に地区目標を突破頂いており、残すは会員増強だけであります、厚く感謝申し上げます。

67クラブを回ってみて、又10クラブの周年記念式典に参加してみて、5年或いは10年を節目に行われる創立記念式典と記念事業は単なる形式ではなく、重要な意義を持っていると言うことを強く印象付けられました。創立記念式典はお客様を迎えるについては事前に十分にプログラムを練り、スケジュールをたて、落ちの無いように、失礼の無いように、楽しいものにするためにクラブ全員力を合わせねば出来ませんし、記念事業は毎年の奉仕事業とはひと味違う事業を考え、クラブの存在する地域のニーズ、クラブの周年にふさわしいものにするために、クラブ総力を挙げて長期的な企画と資金手当、スケジュールを積み上げて行くために、大きな求心力が出来、今後の5年10年のクラブ活動のエネルギーとなっているのを見て来ました。

当クラブでは記念事業として環境対策に力を入れ、10周年大観山、山紅葉。15周年湯河原小学校の梅の木の植樹。20周年には湯河原高校ミモザアカシア椿の植樹、町の緑化計画事業に100万円の寄贈30周年には、温泉場道路両側の歩道にサザンカ・椿の大きな鉢植えを並らべ、花の無い時期にイルミネーションが灯り、観光客の散策に、花を添えている。今35周年おきましても、ロータリー財団へ、国体の行われる運動公園への記念植樹、ガールスカウト・クラブ会員と共に山紅葉の育成にガンバッテいる、農協青年部に対しても、記念事業として数々の寄贈をおこないました。この様な活動事業はこれからのクラブ活動の活性化に大いに期待す

るところであります。

湯河原 R. C は当地区創立13番目、35年の伝統をお持ちのクラブであります。今年度のテーマ『築け未来を行動力と先見の眼で』、基本の方針として『先達の歩に敬意を表することによって未来を築こう』の通りやつてこられて、素晴らしい業績を上げて来られました事は最初に申し上げた通りであります。一方『伝統とは革新の積み上げである』と言う言葉があります。貴クラブで最近

では伊藤分区代理のように若い方々が成長してこられています、クラブの新世代を育成し、クラブを活性化するため、先輩ロータリアン諸氏の積極的な支援をお願いしたいと存じます。

ロータリーは永遠です、湯河原ロータリークラブがこれから40周年、50周年と着々と発展されることを祈念しまして、ご挨拶を終わります。

湯河原ロータリークラブ35周年記念誠におめでとうございます。



出席優秀表彰の他にも、ロータリー財団（年度）157%達成クラブ、ロータリ財団寄付優秀クラブ（会員1名当たり209ドル50セント）と既に地区目標を突破、昨年『意義ある業績賞』等々の表彰を受賞。



河本 親秀ガバナーの公式訪問、当地区で4番目のクラブ訪問(7月19日)された。若い会員達に人気がある、一期一会の心で公式訪問される。湯河原クラブ恒例の勉強したあとの芸者さんを入れての懇親会には驚かれた様子。



来賓挨拶

パストガバナー 生沼富治

皆さん、こんにちは、心からお祝いを申し上げます。又分区内のパストガバナーとして特にお呼び下さいまして厚くお礼を申し上げます。

35年という長い長い歴史を、今日の一日、皆様と共に思い出して見たいと思います。一口に35年と言いましても、それはそれは、青年がお爺さんに成る訳ですから、振り返りますと私も昭和37年頃はロータリーの口の字も考えておりませんで青年会議所でチャーターメンバーで、先輩の八亀さん、ちよつと下の稲葉さんらと、人生を楽しむ事だけを考える時代でしたけど、その時既に湯河原では社会の為に奉仕しようと言う気運が燃え盛りまして、創立総会が開催されたのが4月20日という事でありました。その時お世話されました当時の第2分区代理さんが岩崎裕さん、今日おいで下さいました、私もガバナーの時に藤沢ロータリークラブに公式訪問に行く時には朝神様に手を合せて、岩崎さんに今日は、叱られない様にしようと言う決心を決めかけました、お祈りするぐらいの怖い方です、その方が地区内のクラブを20数クラブ手を架けクラブを誕生させたのすから、唯々、頭が下がります、地区内の事は、ただ今の岩崎さん、こちらの天野さんに聞けばなんでも昔の事は分かるんです、これが当時の分区代理のお役目でしたしかも初代の会長さんが、天野さん、昭和29年に小田原ロータリークラブに在籍されておまして、ロータリーの正しい訓練、目標を見つけておられました。したがいまして、湯河原ロータリークラブが優秀なクラブに成るのが当然であると、私は考えて居ります、その天野さんが4年後に分区代理をなさった時に、分区内4番目のクラブとして私ども小田原北ロータリークラブが出来ました、私も最初から参加しておまして、その頃を思い出しますが、時のガバナーが、鱸さんと言いまして静岡大学の教授、大変怖い、最後まで話をしないで、演題を降りてくる、後はおまえらで考えろ、

カメラを向けると怖い顔で怒られる、けれどもその時の分区代理は大変優しい方の天野さんでした、私どもは大変良かったと思います。その天野さんが、こちらのクラブの方針としてお建てになったのが、とにかくロータリーは仲良くなければいけない、この一言が、めんめんとクラブに生きております。行為と友情が自然に深まって、それがクラブのメンバーに浸透して親睦に結び付く、そのような環境作りがロータリーなんだよと私どもは教えられて来ました。この湯河原クラブは常に40名を保っております。ガバナーには会員増強の件で、申し訳ありませんが、40名程度の数が理想的で、実にしつとりして、会員の方々の強い結びつきになっております。大変気持ちの良い雰囲気の中で進行していてそして親睦が結集して奉仕の力が沸くんです。

さき程から山紅葉のお話がなされておりましたが、実は昨年2月『意義ある業績賞』の選考委員長をガバナーより、おおせつかり、選考しました選考委員全員が4つのクラブ候補の中から湯河原クラブの山紅葉が選ばれて、同じ分区で先輩クラブが選ばれた事に、私は大変、委員長として嬉しく光栄に思いました。この事業に対して改めて、この席から敬意と謝辞を申し上げます。

親睦も大事、奉仕も大事、では有りますが一番大切なのは自分のクラブの環境整備を良くする事で湯河原クラブはクラブの環境整備がなされているクラブであると思います。

湯河原クラブから若い、若い、言われて、出て来た伊藤分区代理、評判が良い、よくやる、すばらしいと、ガバナーからも先程、おほめ戴きましたが、地区内の評判も大変良く、湯河原クラブの会員の皆様の後押し、協力に感謝しております。

このクラブが今後、益々発展されまして充実した気運を養い、クラブ会員の皆様がクラブを通じて、家庭も平和であります様にお願いいたします。